

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月24日

計画の名称	地域における下水道の総合的な推進（防災・安全）（第2期）											
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	町田市											
計画の目標	・下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,039	A	7,039	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H29当初	中間目標値 R1末	最終目標値 R3末
1	管きよの長寿命化を実施し、対策実施率を2.4%に増加させる。 長寿命化対策実施率 長寿命化対策済み処理分区 / 処理分区（41処理分区）	0%	2%	2%
2	成瀬クリーンセンター、鶴見川クリーンセンター及び鶴川ポンプ場における標準耐用年数を経過した設備について改築する。 処理場施設の改築更新（健全度3以上の割合） 処理場施設の健全度3以上の設備数 / 処理場施設の総設備数（約3,000点）	79%	85%	89%
3	重要な管渠のうち汚水幹線の地震対策実施率を28.0%から76.3%に増加させる。 重要な管渠の地震対策実施率 耐震化が行われている汚水管延長（km） / 汚水管総延長（192.3km）	28%	54%	76%
4	雨水浸透施設の設置に対し補助を行い、雨水浸透施設の設置補助率を0.0%から10.0%に増加させる。 雨水浸透施設の設置補助率 雨水浸透施設設置補助件数（件） / 雨水浸透施設設置補助計画件数（300件）	0%	0%	10%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	町田市	直接	町田市	終末処理場	改築	長寿命化対策事業	点検・調査・計画策定・設計 ・工事	町田市						6,522		策定済	
		下水道ストックマネジメント計画 種別1:ポンプ場・管渠(汚水)を含む																		
	A07-002	下水道	一般	町田市	直接	町田市	終末処理場	改築	地震対策事業	調査・設計・対策工事・耐震補強工事	町田市							514		-
		下水道総合地震対策計画 種別1:ポンプ場・管渠(汚水)を含む																		
	A07-003	下水道	一般	町田市	直接	町田市	管渠(雨水)	新設	雨水浸透施設設置補助事業	宅地内浸透施設設置補助	町田市							3		-
		雨水浸透設備設置事業補助金交付事業																		
											小計						7,039			
											合計						7,039			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
町田市の下水道事業は町田市下水道事業計画に基づき実施している。そのため、市の下水道事業や経営計画について評価、審議するにあたり、事後評価を町田市下水道事業計画評価委員会にて実施する。	令和5年2月
	公表の方法
	市のホームページにて公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【長寿命化対策事業/処理場】：処理場施設の経年劣化による機能不良を未然に防止するため、改築更新工事・修繕を実施し、機能回復を図った。処理場施設の健全度3以上の設備割合（設備数/処理場施設の総設備数（約3000点））を90.9%とした。</p> <p>【長寿命化対策事業/管渠】：小川地区をはじめとする対象地区において、老朽化や劣化による管渠の破損を未然に防止するため、布設替えや更生を実施し、管渠の更新を図った。</p> <p>【地震対策事業/管渠】：町田市総合地震対策計画（第1期）に基づき、汚水幹線を中心とした重要な幹線の耐震化をすすめ、地震等の災害時においても下水道の果たすべき機能を保持するよう努めた。2020年度末で完了した。</p> <p>【雨水浸透施設設置補助事業/浸透施設】：雨水浸透設備を設置する者に対してその設置に要する経費の一部を補助することにより雨水の河川への流出を抑制し、浸水被害を防止するよう努めた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画については、「地域における下水道の総合的な推進（防災・安全）（第3期）」にてストックマネジメント事業として引き続き取り組む。 ・重要な汚水幹線等の耐震化について、対象管渠の耐震化が完了した。今後は雨水管の耐震化を進め、災害に強い体制を整えるよう努める。 ・処理場施設の老朽化対策は、「町田市ストックマネジメント計画（第1期）」に基づき、改築更新工事を実施し、施設機能の回復を図る。改築更新にあたっては、脱炭素化・省エネ化等環境対策を考慮し、機能高度化に努める。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	長寿命化対策実施率		
	最終目標値	2%	市内41処理分区のうち、長寿命化対策として計画した1処理分区における管渠の改築更新を実施し目標値を達成した。
	最終実績値	2%	
2	処理場施設の改築更新率		
	最終目標値	89%	「町田市ストックマネジメント計画」等に基づき、改築更新工事及び修繕業務を実施し、設備数約357点の機能回復を図り、処理場施設の健全度3以上の設備割合を90.9%（設備数約2,727点/総設備数約3,000点）とし、目標値以上の施設機能を維持した。
	最終実績値	90%	
3	重要な管渠の地震対策実施率		
	最終目標値	76%	汚水枝線について、既存資料の確認や、耐震診断方法の見直しを行った結果、耐震性能が確保されていることが確認され、「重要な管渠等」に該当する汚水管の耐震化が完了した。
	最終実績値	100%	
4	雨水浸透施設の設置補助率		
	最終目標値	10%	雨水浸透施設設置補助における市民からの申請が計画では浸透ます30件（基）/年だったところ実際は18件（基）と想定より少なかったため目標値を下回った。
	最終実績値	6%	